

障害者施設商品の計数管理セミナー③計数管理の応用

日時： 2015 年 10 月 21 日

場所： 梅田スカイビル タワーウエスト 2 2 階 会議室

【概要】

自作業所の資料を使って

- ・損益分岐点売上高を算出
- ・年間売り上げ予算 月割り予算を作成
- ・損益計算書を分析 対策を立てる

○損益分岐点

損益ゼロで総収益と総費用が均衡するときに損益分岐点

総利益が多いとき…利益

総費用が多いとき…欠損

社会福祉法人の優位性

企業と比べて税制優遇等優位なことも

企業で採算があわないことも社会福祉法人ならできることもある

固定費…売上高の変動に関係なく支出される経費(人件費・土地建物賃借料等)

変動費…売上高の増減に伴って増減する経費(売上原価等)

損益分岐点売上高 = 固定費 / 1 - 変動費 / 売上高

販売数量で損益分岐点を求める場合

損益分岐点販売数 = 固定費 / 販売価格 - 単位あたりの変動費(原価)

演習 わが作業所の損益分岐点売上高を算出してみる

○予算を立てる

年間だけでなく、月度予算の設定は事業の計画と管理を明確にし、適切に遂行されるために必要 目標としている利用者の給料を払っていくためにはどれだけの利益が必要か

- ①過去 3 年分の売上高を準備
- ②3 年分の売上高を合計
- ③平均値を算出
- ④月別平均値を合計し 12 で割る→年間平均値
- ⑤月別平均値 / 年間平均値 × 100% → 季節指数
- ⑥予想されるイベント・バザー等考慮して指数を修正
- ⑦修正季節指数を 1200 で割り、100%かける→月別売上げ指数
- ⑧年間売上げ予算高に月別予算高を掛けて月別売上げ予算を算出

○損益計算書

社会福祉法人会計の決算書から事業の状況を把握するのはむずかしい

各事業ごとに損益計算書を

1 年間にどれだけの売上げを上げてどれだけの経費を使い、利益がどれだけになっているのかをあらわすもの→これを積み重ね、昨年度の実績と比較する

1 作業所が 2 箇所の作業場を運営している場合には連結損益計算書を作成

…単独で採算があわなくても商品の製造所と販売所を連結させると利益を出せる。

結果、利用者の職場も増えた。

クリーニング・印刷業については、「製造原価報告書」を作成して経営状況を把握

営業成績書

利用者の処遇記録とともに、営業の記録もとり、反省と対策を

【参加者の声】

- ・計算は難しかったが個別に教えていただいて助かった
- ・損益分岐点売上高ははっきりとした数字が出て見通しが立てやすいので作ってみようと思う
- ・同じ地域の作業所が利用者工賃の点で大変がんばっていることを知れてよかった。
- ・持ち帰ってすぐに活用できる技術なので非常に有難い
- ・一つの表を作ることでとても分かりやすく目標も立てやすいのでやる気が出そう。
- ・計算が続き少々疲れましたが、有意義な研修でした。
- ・先生の説明はいつも分かりやすいです。